



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2138 URL <https://crooz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者CFO (氏名) 関本 清高 (TEL) 03-6387-3622
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	11,820	△16.7	23	—	△170	—	△470	—
2025年3月期	14,191	△0.6	△1,025	—	△837	—	△530	—

（注）包括利益 2026年3月期 △471百万円（—%） 2025年3月期 △852百万円（—%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	△49.18	—	△5.2	△0.6	0.2
2025年3月期	△53.74	—	△5.3	△3.0	△7.2

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 △18百万円 2025年3月期 △40百万円

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	30,800	8,858	28.4	914.50
2025年3月期	29,530	9,327	31.1	960.74

（参考）自己資本 2026年3月期 8,749百万円 2025年3月期 9,192百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	△141	△7,632	2,231	3,873
2025年3月期	△1,033	△6,328	4,629	9,403

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	52.3	608	—	159	—	48	—	5.08

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 - (社名) -, 除外 2社 (社名) Studio Z株式会社、CROOZ Blockchain Lab株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	12,957,600株	2025年3月期	12,957,600株
2026年3月期	3,389,880株	2025年3月期	3,389,880株
2026年3月期	9,567,720株	2025年3月期	9,870,439株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	670	△52.2	△51	—	218	△77.0	455	△60.7
2025年3月期	1,402	124.8	698	—	952	34.8	1,158	10.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	47.65	—
2025年3月期	117.41	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	15,077		9,266		61.4	968.02		
2025年3月期	18,018		8,747		48.5	913.34		

(参考) 自己資本 2026年3月期 9,420百万円 2025年3月期 8,738百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は持株会社であり、当社の売上高は、連結子会社からの経営管理料及び配当金等により構成されております。当期につきましては、経営管理料及び配当金の減少に伴い、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会について)

当社は、事前に録画した決算説明動画を当日使用する決算説明資料とともに、本日2026年5月13日(水)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、2026年5月19日(火)16:30より、Q&Aを中心とした決算補足説明会をオンラインで開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、インフラやテクノロジーの進化、世の中のユーザーのニーズの変化に合わせて事業を創造するテックカンパニーとして、ITアウトソーシング、EC領域を中心に10以上のサービス・事業を展開しており、現在はIT人材業界におけるエンジニア人材の不足という市場課題を解決することを主としたシステムエンジニアリングサービス事業（SES事業）を中心に、人材×IT領域を対象として事業展開をおこなっているITアウトソーシング事業をメイン事業としております。

経済産業省が公表した「IT人材需給に関する調査（注1）」によると、IT関連市場規模の拡大に伴い、2030年までIT人材の不足は年々増加すると予測されており、2030年には最大で約79万人のIT人材が不足する見込みと言われております。また、IT人材の平均年齢の高齢化もあり、ITニーズの増加に伴う需給ギャップの拡大は今後益々拡大されることが予測されます。その中で、当社グループのITアウトソーシング事業は2020年の事業開始から前期まで売上高年平均成長率約68%と大きく成長してきております。当連結会計年度においては、7,713,482千円（前年同期比55.6%増）、営業利益が274,939千円（前年同期比131.2%増）となりました。さらに成長させるために引き続き注力していきたく思っております。

EC事業については、当連結会計年度の売上高は3,740,249千円（前年同期比46.1%減）、営業利益が73,006千円（前年同期比65.7%増）となりました。EC事業は前期まではSHOPLIST事業とAda.事業で構成されておりましたが、SHOPLIST事業については、2025年2月28日に株式譲渡が完了しており、当期からはAda.事業のみとなっております。Ada.事業は、主に『ZOZOTOWN』内で展開する、オリジナル商品と他社優良ブランドの商品を厳選したファッションセレクトショップを運営しておりますが、当該Ada.事業のみでみると当連結会計年度の売上高の増減率は前年同期比28.1%増となっており、季節要因による変動が若干ありますが、事業開始から順調に成長しております。

さらに来期以降は、これら既存事業での安定収益を基盤としつつ、国家戦略である「観光立国」を支える「ホテルコンバージョン事業」を今後の当社グループの成長を牽引する新たな事業の柱として位置づけ、強力に推進してまいります。現在、インバウンド需要の急増に伴い宿泊施設の不足が深刻化する一方、都市部での新築開発は建築費高騰等により限界を迎えています。こうした課題に対し、当社グループは築古の中小型ビルを取得し、高付加価値なホテルへ用途変更（コンバージョン）することで、最速かつ低コストで環境に配慮した宿泊インフラを供給いたします。本事業においては、短期的な不動産売買を目的とせず、高い稼働率と客室単価を伴うホテル運営を通じた長期安定的な収益（インカムゲイン）の創出を第一義としております。魅力的な宿泊拠点の提供によって周辺地域の活性化に貢献し、結果として中長期的に保有資産自体の価値も最大化されるというバリューアップ・サイクルを実現することで、本事業を中核とした持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

当連結会計年度の経営成績は、売上高11,820,516千円（前年同期比16.7%減）、営業利益23,498千円（前年同期は営業損失1,025,700千円）、経常損失170,591千円（前年同期は経常損失837,106千円）、親会社株主に帰属する当期純損失470,527千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失530,396千円）となりました。

（注1）2019年3月公表の経済産業省「IT人材需給に関する調査 調査報告書」を基に記載しております。

セグメントごとの経営成績の状況を示すと次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①ITアウトソーシング事業

当連結会計年度の売上高は7,713,482千円（前年同期比55.6%増）、セグメント利益は274,939千円（前年同期比131.2%増）となりました。

②EC事業

当連結会計年度の売上高は3,740,249千円（前年同期比46.1%減）、セグメント利益は73,006千円（前年同期比65.7%増）となりました。

③その他事業

当連結会計年度の売上高は366,784千円（前年同期比84.0%減）、セグメント損失は324,447千円（前年同期はセグメント損失1,188,684千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度における総資産は、現金及び預金の減少3,529,774千円などがあった一方で、投資不動産の増加5,007,582千円などにより、30,800,602千円（前連結会計年度比1,270,435千円の増加）となりました。

(負債)

当連結会計年度における負債は、社債の減少2,000,000千円などがあった一方で、長期借入金の増加3,851,751千円などにより、21,942,051千円（前連結会計年度比1,739,139千円の増加）となりました。

(純資産)

当連結会計年度における純資産は、親会社株主に帰属する当期純損失470,527千円の計上などにより、8,858,551千円（前連結会計年度比468,703千円の減少）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は3,873,524千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、141,789千円の支出（前年同期は1,033,055千円の支出）となりました。主な増加要因は、賃貸費用483,461千円、減価償却費232,680千円及び法人税等の還付額143,277千円などであり、主な減少要因は、賃貸収益549,223千円及び貸倒引当金の減少額534,782千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,632,090千円の支出（前年同期は6,328,488千円の支出）となりました。主な減少要因は、投資不動産の取得による支出5,276,706千円及び定期預金の預入による支出2,000,690千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,231,909千円の収入（前年同期は4,629,136千円の収入）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入4,975,000千円などであり、主な減少要因は、社債の償還による支出2,000,000千円などであります。

(4) 今後の見通し

2027年3月期の連結業績予想につきましては、既存のITアウトソーシング事業やEC事業で安定収益を生み出しながら、新規事業である「『国土の真価』を証明し、世界に誇る観光立国へ」というビジョンのもと、宿泊インフラ不足という国家課題を「最大の成長機会」に変えるホテルコンバージョン事業を柱として業績を拡大していくことを見込んでおり、売上高18,000,000千円、営業利益608,702千円、経常利益159,840千円、当期純利益48,614千円といたしました。ホテルコンバージョン事業の詳細は、本日公表した「事業説明資料」をご覧ください。

なお、本業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準を採用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,104,071	6,574,297
売掛金	2,365,500	2,129,356
商品	327,978	450,902
貸倒引当金	△550,696	△15,914
その他	528,712	371,388
流動資産合計	12,775,565	9,510,029
固定資産		
有形固定資産		
建物	222,063	302,040
減価償却累計額	△46,654	△41,154
建物（純額）	175,408	260,885
機械装置及び運搬具	19,657	23,396
減価償却累計額	△10,415	△6,886
機械装置及び運搬具（純額）	9,242	16,509
工具、器具及び備品	155,097	74,654
減価償却累計額	△124,216	△56,920
工具、器具及び備品（純額）	30,880	17,733
建設仮勘定	—	19,745
有形固定資産合計	215,531	314,874
無形固定資産		
ソフトウェア	6,340	3,067
無形固定資産合計	6,340	3,067
投資その他の資産		
投資有価証券	3,656,678	3,451,670
関係会社株式	35,198	17,009
繰延税金資産	170,566	35,218
敷金及び保証金	391,124	213,135
投資不動産	12,021,078	17,028,661
その他	189,640	178,525
投資その他の資産合計	16,464,287	20,924,221
固定資産合計	16,686,159	21,242,163
繰延資産		
社債発行費	68,441	48,409
繰延資産合計	68,441	48,409
資産合計	29,530,166	30,800,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	670,349	660,238
1年内償還予定の社債	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	604,718	1,004,182
未払金	450,160	223,571
未払費用	153,629	494,020
未払法人税等	126,660	171,290
その他	551,295	421,542
流動負債合計	4,556,815	4,974,846
固定負債		
社債	5,000,000	3,000,000
長期借入金	9,506,192	13,357,943
繰延税金負債	33,967	120,453
預り敷金	439,879	488,189
預り保証金	665,438	—
その他	617	617
固定負債合計	15,646,095	16,967,204
負債合計	20,202,911	21,942,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,163	460,163
資本剰余金	1,379,395	1,379,395
利益剰余金	10,955,702	10,512,008
自己株式	△3,851,091	△3,851,091
株主資本合計	8,944,169	8,500,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	255,394	256,021
為替換算調整勘定	△7,437	△6,839
その他の包括利益累計額合計	247,957	249,182
新株予約権	9,753	5,026
非支配株主持分	125,374	103,867
純資産合計	9,327,255	8,858,551
負債純資産合計	29,530,166	30,800,602

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	14,191,649	11,820,516
売上原価	8,022,954	5,676,980
売上総利益	6,168,694	6,143,535
販売費及び一般管理費	7,194,395	6,120,037
営業利益又は営業損失(△)	△1,025,700	23,498
営業外収益		
受取利息	88,427	74,092
為替差益	—	7,487
投資事業組合運用益	211,082	17,261
貸貸収益	341,277	549,223
その他	32,528	24,940
営業外収益合計	673,316	673,005
営業外費用		
支払利息	175,879	314,311
持分法による投資損失	40,085	18,189
社債発行費償却	20,031	20,031
為替差損	21,650	—
貸貸費用	196,263	483,461
その他	30,813	31,101
営業外費用合計	484,722	867,095
経常損失(△)	△837,106	△170,591
特別利益		
固定資産売却益	44	1,451
関係会社株式売却益	5,466	—
投資有価証券売却益	1,008,129	39,000
投資有価証券償還益	173,451	—
新株予約権戻入益	420	4,781
受取和解金	6,000	—
その他	—	52
特別利益合計	1,193,512	45,286
特別損失		
固定資産除却損	1,024	19,295
減損損失	3,084	280
投資有価証券評価損	54,679	999
関係会社株式売却損	235,793	7,329
事務所移転費用	81	42,122
貸倒引当金繰入額	534,782	—
その他	46,896	5,041
特別損失合計	876,342	75,069
税金等調整前当期純損失(△)	△519,936	△200,375
法人税、住民税及び事業税	104,156	68,000
法人税等調整額	△93,968	204,297
法人税等合計	10,187	272,298
当期純損失(△)	△530,124	△472,673
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	272	△2,145
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△530,396	△470,527

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)	△530,124	△472,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△321,755	626
為替換算調整勘定	△133	597
その他の包括利益合計	△321,888	1,224
包括利益	△852,013	△471,448
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△852,285	△469,303
非支配株主に係る包括利益	272	△2,145

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	460,163	1,413,903	11,450,334	△3,248,240	10,076,161
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△530,396		△530,396
自己株式の取得				△602,851	△602,851
その他		△34,508	35,764		1,256
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△34,508	△494,632	△602,851	△1,131,992
当期末残高	460,163	1,379,395	10,955,702	△3,851,091	8,944,169

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	577,150	△7,303	569,846	10,291	152,441	10,808,740
当期変動額						
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△530,396
自己株式の取得						△602,851
その他						1,256
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△321,755	△133	△321,888	△537	△27,066	△349,492
当期変動額合計	△321,755	△133	△321,888	△537	△27,066	△1,481,484
当期末残高	255,394	△7,437	247,957	9,753	125,374	9,327,255

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	460,163	1,379,395	10,955,702	△3,851,091	8,944,169
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△470,527		△470,527
連結除外に伴う利益剰余金増減			26,834		26,834
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△443,693	—	△443,693
当期末残高	460,163	1,379,395	10,512,008	△3,851,091	8,500,476

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	255,394	△7,437	247,957	9,753	125,374	9,327,255
当期変動額						
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						△470,527
連結除外に伴う利益剰余金増減						26,834
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	626	597	1,224	△4,727	△21,507	△25,010
当期変動額合計	626	597	1,224	△4,727	△21,507	△468,703
当期末残高	256,021	△6,839	249,182	5,026	103,867	8,858,551

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△519,936	△200,375
減価償却費	266,302	232,680
減損損失	3,084	280
持分法による投資損益 (△は益)	40,085	18,189
為替差損益 (△は益)	21,650	△7,487
投資事業組合運用損益 (△は益)	△211,082	△17,261
新株予約権戻入益	△420	△4,781
受取和解金	△6,000	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	54,679	999
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,008,129	△39,000
投資有価証券償還損益 (△は益)	△173,451	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	230,327	7,329
固定資産売却益	△44	△1,451
固定資産除却損	1,024	19,295
事務所移転費用	81	42,122
貸貸収益	△341,277	△549,223
貸貸費用	196,263	483,461
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	532,458	△534,782
売上債権の増減額 (△は増加)	△133,994	65,701
商品の増減額 (△は増加)	△47,217	△123,429
前払費用の増減額 (△は増加)	68,933	28,510
仕入債務の増減額 (△は減少)	119,670	83,373
未払金の増減額 (△は減少)	△298,239	△127,404
未払費用の増減額 (△は減少)	△27,068	347,282
預り金の増減額 (△は減少)	367,805	△235,617
その他の資産の増減額 (△は増加)	△123,866	67,542
その他の負債の増減額 (△は減少)	556,075	212,346
その他	107,933	225,026
小計	△324,352	△6,670
利息の受取額	92,119	73,383
利息の支払額	△164,062	△309,657
和解金の受取額	6,000	—
移転費用の支払額	△81	△42,122
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△642,679	143,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,033,055	△141,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,000,690
有形固定資産の取得による支出	△58,969	△223,271
有形固定資産の売却による収入	2,023	12,403
無形固定資産の取得による支出	△64,512	△510
投資事業組合からの分配による収入	256,996	145,176
投資有価証券の取得による支出	△105,795	—
投資有価証券の売却による収入	1,193,427	148,979
投資有価証券の償還による収入	647,787	—
関係会社の清算による支出	△2,575	—
貸付金の回収による収入	2,487	610
投資不動産の取得による支出	△8,460,052	△5,276,706
投資不動産の賃貸に伴う収入	353,889	543,886
投資不動産の賃貸に伴う支出	△191,464	△474,637
敷金及び保証金の差入による支出	△440,920	△24,918
敷金及び保証金の回収による収入	48,302	224,206
預り敷金及び保証金の返還による支出	—	△665,438
預り敷金及び保証金の受入による収入	371,087	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△27,527
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	43,825	—
その他	75,974	△13,653
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,328,488	△7,632,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	7,960,000	4,975,000
長期借入金の返済による支出	△727,924	△723,784
社債の償還による支出	△2,000,000	△2,000,000
自己株式の取得による支出	△602,851	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	8,094
新株予約権の発行による収入	11	55
その他	△99	△27,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,629,136	2,231,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,850	11,506
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,752,258	△5,530,464
現金及び現金同等物の期首残高	12,156,247	9,403,989
現金及び現金同等物の期末残高	9,403,989	3,873,524

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、経営陣が経営資源の配分、投資計画の決定及び経営成績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループでは、「ITアウトソーシング事業」、「EC事業」、「GameFi事業」の3つを報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度から、「GameFi事業」については量的な重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、当連結会計年度の比較情報として開示した前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

「ITアウトソーシング事業」は、IT人材業界におけるエンジニア人材の不足という市場課題を解決することを主としたシステムエンジニアリングサービス事業（SES事業）を中心に、人材×IT領域を中心に事業展開を行っております。「EC事業」は、主にインターネットを利用した通販サービスを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	ITアウト ソーシング 事業 (注) 3	EC事業 (注) 4	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,955,828	6,942,752	11,898,581	2,293,067	14,191,649	—	14,191,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76,839	—	76,839	281,687	358,526	△358,526	—
計	5,032,667	6,942,752	11,975,420	2,574,755	14,550,175	△358,526	14,191,649
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	118,917	44,067	162,984	△1,188,684	△1,025,700	—	△1,025,700
その他の項目							
減価償却費	6,721	119,665	126,387	30,608	156,995	—	156,995

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに配分していない共通費を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. ITアウトソーシング事業のうち、主要なSES事業の売上高は2,994,221千円、セグメント利益が164,902千円、介護福祉人材サービス事業の売上高は384,939千円、セグメント損失が103,904千円となっております。

4. EC事業はSHOPLIST事業とAda. 事業で構成されており、2025年2月28日に譲渡済みのSHOPLIST事業の売上高4,021,981千円が含まれております。Ada. 事業のみの売上高は2,920,771千円となります。

5. 資産についてのセグメント情報は、経営者が経営の意思決定上当該情報を各セグメントに配分していないことから開示しておりません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	ITアウト ソーシング 事業 (注) 3	EC事業 (注) 4	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,713,482	3,740,249	11,453,732	366,784	11,820,516	—	11,820,516
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,035	—	3,035	220,315	223,350	△223,350	—
計	7,716,518	3,740,249	11,456,767	587,099	12,043,866	△223,350	11,820,516
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	274,939	73,006	347,945	△324,447	23,498	—	23,498
その他の項目							
減価償却費	5,922	130	6,052	36,640	42,693	—	42,693

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに配分していない共通費を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. ITアウトソーシング事業のうち、主要なSES事業の売上高は4,193,817千円、セグメント利益が270,952千円、介護福祉人材サービス事業の売上高は1,139,062千円、セグメント損失が152,913千円となっております。
4. EC事業のうち、SHOPLIST事業は2025年2月28日に譲渡済みであるため、当連結会計年度よりAda. 事業のみとなっております。
5. 資産についてのセグメント情報は、経営者が経営の意思決定上当該情報を各セグメントに配分していないことから開示しておりません。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ZOZO	3,728,390	EC事業

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	全社 (共通)	合計
	ITアウト ソーシング 事業	EC事業	計			
減損損失	—	—	—	3,084	—	3,084

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった、建物等に係る減損損失であります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	全社 (共通)	合計
	ITアウト ソーシング 事業	EC事業	計			
減損損失	280	—	280	—	—	280

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった、建物に係る減損損失であります。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	960.74円	914.50円
1株当たり当期純損失(△)	△53.74円	△49.18円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△530,396	△470,527
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純損失(△)(千円)	△530,396	△470,527
普通株式の期中平均株式数(株)	9,870,439	9,567,720
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	新株予約権5種類(新株 予約権の数46,535個(普通 株式4,653,500株))。	新株予約権4種類(新株 予約権の数46,195個(普通 株式4,619,500株))。

(重要な後発事象の注記)

(報告セグメントの変更)

当連結会計年度において、当社グループの報告セグメントを「ITアウトソーシング事業」及び「EC事業」の2事業としておりましたが、翌連結会計年度より事業ポートフォリオに基づく各事業領域の収益性、投資効率などを明確にするため、「ホテルコンバージョン事業」、「介護派遣事業」、「エンジニア派遣事業」、「コールセンター、求人、人材紹介事業」及び「EC事業(Ada.)事業」の5事業を報告セグメントといたします。

なお、変更後のセグメントによった場合の当連結会計年度の報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報については、現在算定中であります。